

令和4年度 飯山市 子ども・子育て会議 会議録（要旨）

開催日時 令和4年12月6日（火） 午後1時30分～

場 所 飯山市役所 4階 全員協議会室

出席人数 委 員：20名（2名欠席）
事務局： 6名

(1) 「飯山市子ども・子育て支援事業計画」について

事務局：(説明)

会 長：今説明のあった「飯山市子ども・子育て支援事業計画」について、質問等あればお出し頂きたい。
なければ、次に進みたい。

(2) 飯山市の子育て支援事業の現状について

事務局：(説明)

会 長：今説明のあった、飯山市の子育て支援事業の現状について、質問等あればお出し頂きたい。

委 員：妊婦が安全に病院まで行くことができる、マタニティータクシー事業は、どのくらいの方が利用しているのか。

保健福祉課長：本事業は、母子手帳交付時に利用申し込みを頂いている。昨年度の利用状況について、実際に利用された方は数名だったが、申し込み自体は50人程度あった。実際の出産時には、このタクシーを利用して病院に行くか、ご家族の方に連れて行って頂くか、そのどちらかを選択するようになる。

会 長：そのほかご質問等あればお出し頂きたい。なければ、次に進みたい。

(3) 特定教育・保育施設の利用定員について

事務局：(説明)

委 員：めぐみ保育園の0歳児定員が減ると、令和5年度の0歳児の見込み人数を定員が下回ってしまうが、市の公立保育園でその分を手立てするのか。

事務局：現在、令和5年度の入所申し込みの受付を行っている。11月末の時点で、令和5年度の0歳児は33人程度になる。令和5年度の0歳児の定員は39人のため、見込めると考えている。

委 員：先ほどの説明で途中入園が多いとあったが、途中入園の子どもは見込んでいるのか。

事務局：年度途中に入園予定の0歳児も含めて見込んでいる。

委員：家庭の事情などにより、急に0歳児を預けなくてはならない状況もある。めぐみ保育園には、生後6ヶ月から子どもを預かって頂いて大変お世話になっているので、0歳児定員が減ることに不安を感じる。現状はいかがだろうか。

事務局：めぐみ保育園の園長に保育園の現状を伺うと、保育士の確保が厳しいとのことだった。そういった現状から、0歳児の定員変更を申し出たという。

委員：相談に応じていた時に、急遽子どもを預けなくてはならない家庭があった。その際、めぐみ保育園に相談したが、保育士が不足していることから受入れが難しいと断られ、最終的に勤務先の託児所で預かることになった。定員を減らすのは良いが、その分の受け皿を市全体で考えてく必要がある。若い保護者はどのような考えなのかお聞きしたい。

委員：私は今年飯山市に移住した、3人の子どもを養育する保護者です。移住の際、6ヶ月だとめぐみ保育園、公立だと1歳以上でないと受入れが難しいと教えて頂いた。S県から移住してきたが、S県では公立保育園でも6ヶ月前後から利用可能な施設が多かった。もし飯山市でも6ヶ月から利用可能であれば、現在も安心して働いているのでは、という思いがある。

定員について、飯山市在住の方を基本に考えていると思うが、移住者のことを考えると、0歳児の定員がいっぱい保育園に入れなくなると、移住の選択肢から外れてしまうか、移住を先延ばしにしてしまうと考えられる。現在、私や主人が体調を崩した際に、一時預かりやファミサポを利用しているが、未満児の定員は余裕があった方が良く考える。現在めぐみ保育園を利用していて、6ヶ月から利用可能なところは非常に魅力的である。公立保育園でも受入れを1歳からではなく6ヶ月からにして頂きたい。

保育士の人員に関して、東京、埼玉、神奈川では、保育士の方々に定着して貰えるよう市から補助があるという。兵庫県明石市では、市長が変わってから子育てに関する医療費の無料、保育料の無料、給食費の無料といった取組みで、市への移住が増えたという実績がある。保育士の方々に対する補助など、子どもだけでなく、そこで働いてくれている方々への施策を行えば、皆がより良く暮らしていけるのではないかと。

事務局：めぐみ保育園について、6ヶ月から受入れを行って頂いて大変感謝している。公立において、6ヶ月からの受入れをすぐに行うのは難しいが、考えていかなければならない。保育士の処遇改善について、首都圏では保育士に補助があるということだが、飯山市には現在そういった補助が無いことから、ご提言を頂いた中で考えていきたい。

委員：私は看護師だが、現在保育補助の仕事をしている。0歳児、1歳児を預かるには、それ相応のリスク管理が必要である。補助金がでるのであれば看護師の採用を行い、急に状態が変わる0、1歳児の健康観察をこまめに行い、すぐに保護者に連絡を行い安心して貰うといった役割も必要

になると考える。

事務局：看護師について、現在市の保育園では配置をしていない。子ども館「きらら」の病後児保育で、1名配置している。今すぐ各保育園に看護師を配置できる状況ではないため、このことについても考えていきたい。

委員：園児数の推移を見ると、子どもの人数は減少してはいるものの、0～2歳児の入園数は増えていると思える。めぐみ保育園に入りたくても入れなかった保護者の声も聞いている。私は、元保育士であるため、保育士側からも見るができるが、めぐみ保育園は保育士が足りないと感じた。令和5年度も、既にここに書かれているより多く利用申請が来ていると聞いており、予測より0、1歳児の需要は増えていくと考える。

保育士が少ないから、定員を減らすというのは単純なことだが、それでは子育て支援に繋がらない。しかし、保育士を増やせばそれで良いという単純なことではない。私自身、子育ての中で、保育士として働くことにしんどさを感じて辞めた保育士の1人でもある。私の周りにも、保育士を辞めてしまう方は多くおり、市外に出て行った方も大勢いる。彼女らは非常に良い人材で勿体ない。現場を見ていて、やはり0、1歳児の環境設備は整っていないと感じる。

現場で働く保育士の声をもっと聞いて欲しいと考える。現場では「言っても意味がない」という思いが広がっており、保育士の声が届いていないと感じる。これから、保育士との面談の時期に入ってくると思うが、保育士の意見を引き出して頂いて、保育士が働きやすい現場づくりをして欲しい。

会長：飯山市も子育てに力を入れて頂きたいので、研究しながらやって頂けると思っている。現状では厳しすぎるので、これまでの意見を踏まえて、市の方でも検討して欲しい。他に意見はないか。

委員：上の子が保育園に入っていると、下の子は育児で1年しか自分の家で養育することができない。下の子が1歳になると、就職するか、それとも休職するのかと聞かれ、保育園に入れざるを得なくなってしまう。自分の家で3歳まで養育しようと思うが、上の子が保育園にいれば、制度で保育園に入れなければならない。その為、育児で3年まで利用可能になれば、自分の家で子どもを養育しようとする人が出てくるのではないか。

教育長：これは育休を取ることができる期間を、勤務先に対して1年ではなく3年にして欲しいということですか。

委員：それとは別で、現状出産・育児という理由で保育園を利用しようとする、1年間しか認められない。そのため、下の子が1歳になると、既に保育園を利用している子どもを退園させなくてはならない。下の子は3歳まで自分の家で養育したいと思うが、下の子の他に、2、3人養育することは非常に大変。大きい子どもは保育園に預けて、小さい子どもを家で養育可能になれば、未満児の枠が空くのではないか。

委員：そこは国の制度なので、飯山市の制度を変えるのは難しい。結局、家で保護者が見れるのなら1号認定になってしまうので、保育園ではなく、幼稚園へと言う話になってしまう。

委員：それでは困る保護者が多くいる。

委員：なぜ保育園に拘るのか。幼稚園職員という立場だとそう考える。幼稚園では同じような時間を保育として提供している。働いた時に、元の保育園に戻れなくなるということが一番大きな理由ではないかと考える。今年度もそのような方がいて、半年間幼稚園を利用し、その後保護者が職場復帰した段階で、めぐみ保育園へ行った方がいる。そこは、働き方と生活の仕方として考えて頂くところではないか。飯山市には幼稚園、保育園しかなく、認定こども園がないので、1号認定は見ることができないという現状はある。1号認定になると、園を利用するためには、幼稚園に出すか、認可外保育所のようなところに預けるしかなくなってしまう。保育料としては、保育園も幼稚園も無償化されているので、自己負担的にはあまり大きくないのではないかと。

教育部長：大変貴重な意見を頂戴している。先ほどの委員の意見について、今幼稚園の職員からお話頂いた方法もあるということが、私どもから伝えきれていないと反省している。そういった点について、本日の会議だけではなく、様々な声を聞かせて頂いて、少しずつ改善していきたい。

事務局：ご意見頂きありがとうございます。めぐみ保育園の定員変更については、この会議で決めて頂いて、その他の意見については、これから臨機応変に対応をしていければと考える。めぐみ保育園の定員変更の件についていかがだろうか。

委員：めぐみ保育園で保育士がいなくて対応できないということであれば、認めざるを得ないと思う。

会長：めぐみ保育園からの申し出について、よろしいか。

委員：めぐみ保育園の定員について、保育士が減少し厳しいということは十二分に理解できる。可能であれば、その分公立保育園において0歳から受入れができるように、ベビサポという見守りシステム（0歳児を養育する際に、保育士の方々の保育の負担を軽減するシステム）など、市でも補助を行い、保育士の負担を減らすことができれば、この保育所にはこういった設備があり、充実してるから就職しようと思って頂けると思うので、そのような補助を増やして欲しいと考える。

会長：その件について、これから市の方で対応して頂けると思う。めぐみ保育園の定数変更について、皆さん賛同をお願いしたい。

～ 異議なし ～

よろしく申し上げます。その他の意見は、市で検討をお願いします。

教育長：大事な意見を頂いたので、教育委員会と認定園、社協と連絡を取り合い複数のところで一緒に考えて対応を行うことができればと考える。

(4) 子ども子育てに関するご意見等について

事務局：子ども子育て全般についてご意見を頂きたい。

委員：民生委員会などで、コロナ禍で3年間学校や保育園の訪問ができなかったと聞く。3年が経ち、これから少しずつコロナの動向も変わっていくと思うので、入園式、卒園式、運動会、音楽会など、子どもたちの姿を見ることが出来る場面に呼んで頂けないか。

会長：私も来賓として学校に行けていない。お声がけがされないので、子どもたちの様子も分からない。これからぜひ呼んで頂きたい。

委員：上の子が3歳で、下の子の育休をとっている時に、飯山市へ移住した保護者です。不便性を感じた点として、子どもたちが遊ぶ場所がないことが挙げられる。長峰の公園に連れて行っただが、蜂が多く、連れて行くのを辞めた。城山公園に行っただが、子どもの姿が全くなく、□□市では同年代の子どもと遊んでいたが、ここでは基本的に私と子どもで遊んでいた。城山公園は、屋根もなく、ただの広だけの公園。飯山市は水道代が高いため難しいと思うが、噴水があると夏場暑い飯山市でも良いと考える。また、6ヶ月で預けたいと思う保護者同士で集えるような場所があれば良いのではないか。

委員：公園の件に関連して、子どもが同級生で集まって「なちゅら」で遊んでいた時に、通報されてしまった。ボールが道に出してしまうので危ない、ということで学校から電話を頂いて、私が現場へ行くことがあった。また、鉄砲町のSL公園は、以前は道にボールが出ないようにネットの柵があったが、数年前から市で花を設置するというので、ネットを外してしまった。道にボールが出てしまい、飛び出してる子どもを何度も見ている。そのため、私の子どもには、SL公園では遊んではいけないと教えている。子どもが安全に遊べる場所が欲しいと感じている。

上越にある高田の施設に、子どもを連れて友人とよく行く。そこはただトランポリンがあるだけの施設だが、子どもたちはすごく喜んでいて、何時間でもそこで遊んでいるくらい魅力的な公園になっている。他には芝生しかないが、隣にはコーヒーチェーン店があり、屋根とベンチがあるので、コーヒーを飲みながら子どもの様子を見ることが出来る。城山公園も良いが、周りの保護者に聞くと、夏場は夕方しか行けないという声を聞く。ただ公園を作るのではなく、そういった

面から長時間遊べるなどの対策をして頂きたい。

江沢市長からお電話を頂いてこの会議にお呼び頂いたが、今年の3月に〇〇市へ転出してしまったシングルマザーの友人の話を絶対に伝えて欲しいと言われている。彼女は、子どもが3歳のころに離婚して、県営住宅に入ったが、除雪が非常に負担であったという。子どもが起きていると付いてきて危険で、子どもが寝ている間にしか除雪ができない。灯油を持って階段を昇降するのも辛く、そんな生活を7年ほど続けて限界を感じ、〇〇市へ転出してしまった。しかし、結局冬を越す前に飯山に帰ってくると先月連絡があった。理由は、〇〇市の給食が非常に美味しくないからだと言う。通勤しやすい住居が見つからないなど、理由は他にもあるが、冬を越す前に帰ってくる決断を彼女はした。

良い所選びではないが、公営住宅は一度入居してしまうと、他の公営住宅に移ることができなくなってしまふ。そのシングルマザーの友人も県営住宅に入ったは良いが、他の市営住宅に移ることができなかった。移るなら民間のアパートになるが、飯山市は非常に家賃が高い。そのため、シングルマザーは一度安易に県営住宅に入ってしまうと動けないという現状がある。

除雪の面でも、私自身、子どもが寝ている朝3時に起きて雪をかくことが毎年のことだが、栄村は子育て中のシングルマザーといった、子育て中のご家庭に対して除雪支援があるという。そういったところも検討して欲しい。

教育長：民生部も来ていますので、その所よく聞いて頂きたい。

民生部長：雪に関して、昨年非常に大雪で、区長会や民生委員からご意見を頂いた。今冬については、玄関先の除雪や住宅の除雪について、作業員が不足している部分もあり、金額面とか改善をした。それで十分ではないが、母子家庭も含めお話を伺い、色々検討していきたい。

教育長：そういった声をどんどん出して頂いて、直接教育委員会なり民生部の方へ届けてもらえば、実際に考える第一報となりますので、今回のような会議の時だけではなく、普段から声を出して頂きたい。そういった声は、市長にも届けます。

会 長：他にはよろしいですか。

委 員：飯山に移住した際に、保育園選びをしようと考えたが、その際の情報が、公立保育園の一覧と、住所と電話番号と地図が書いてあるだけだった。保育園がどこにあるかは分かったが、具体的に園庭があるのか、その辺りにどういう自然があるのか、それぞれの保育園でどういうところに力を入れているのか、給食はどういうものを出しているのかなどは分からなかった。私は、夫の実家があったので、周りの方に聞くことができたが、なかなか地元には馴染めない方々もいると思う。そのため、サイト上で得ることができる情報をもう少し増やして欲しい。また、自転車を練習できる公園の場所なども知りたい。そういうところも教えて頂けたら大変助かった。

会 長：貴重なご意見ありがとうございました。この会議でなく、日頃から色々な意見を出して頂き、市

へ届けて欲しい。市の方では検討を行い、ますます良い子育て環境づくりをして欲しい。

教育部長：非常にたくさんのご意見を頂戴し、ありがとうございます。市もこれから来年度の予算等の組み立ての時期に入るので、今回の意見を参考にし、今後の事業展開を十分検討したい。一つ痛感していることは、情報発信が不足していることであり、ここは改めて力を入れていきたいと考える。

教育長：本日は多くのご意見ご要望を頂き、非常に良い会議だったと感じている。私も以前、主任児童委員をやっており、その中で0歳から2歳児までの子どもを養育する保護者同士が交流できる子育て支援サークルをやらせて頂いた。秋津地区の母子だけでなく、泉台地区や木島地区、あるいは飯山地区など広範囲から来られ、多い時は母子含め30人近い時もあった。皆に情報交換をして貰い、子育てを楽しんで頂き、良い経験ができたと感じている。そのうえで、本日様々のご意見を頂き、飯山市において未だ十分な子育て支援ができていない部分もあると痛感した。今回出された意見を再検討し、今後何ができるか、どこまでできるかということを考えながらやっていきたい。すぐに全てを行うのは難しいということをご理解頂きたいが、やれるところはやっていこうと考えているので、よろしくお願ひします。本日は本当にありがとうございました。

教育部長：長時間に渡りありがとうございました。以上を持ちまして子ども・子育て会議を終了させていただきます。